

KINZOKU DANCHI NEWS Since 1974

金属団地ニュース

600号記念特集



40th



20th



10th



60th



バンテリンドームナゴヤ観戦ツアー開催

7月13日(土)に観戦ツアーを実施し94名が参加、青年部にもお手伝いいただき、定刻11時30分に2台のバスは出発し、12時40分頃にドーム到着。お弁当を買ったり、グッズショップにいたり各自自由に過ごします。グラウンド内では対戦するビジターチームがシートノック(守備練習)をしていましたが、とても迫力がありこれも生で観戦する楽しみのひとつと思います。本日もこの一戦に3万6千人と多くの方が詰めかけ、狂喜乱舞の試合結果は青年部ページをご覧ください。

さてこのツアーでは従業員やご家族の方もご参加いただけます。席はパノラマ席なのでビジターチームのファンでも何も問題ありません。バスでの移動が楽というお声もいただいておりますので是非お気軽にお申込みください。今回このツアーにご参加された皆様お疲れ様でした。





「変化」の為の「継続」

「今時の若い者は！」という言葉は、年長者が若者を嘆くフレーズとして古代から有名です。他方、「最近の老害が、」などと、若年が年長者を批判する言葉もよく聞きます。どちらも自世代の視点から他世代が変化しないことを託つ表現です。「アグレッシブ過ぎる」表現はいただけませんが、やはり「変わり続けていく事」自体は重要であります。しかし、「変化の実践のみに価値を見出していないか？」を改めて問う必要はないでしょうか？

人間には良くも悪くも「エゴ」があります。「褒められたい」「認められたい」「他者より秀でたい」、…。一見、忌むべきことなのかもしれませんが、これらの思考を持ち合わせていないと言い切ることは、少なくとも私にはできません。それでは、我々は何の為に「変化」をするのでしょうか？ 月並ですが、自分を含めた社会が良くなる為なのではないかと思います。

自戒を込めて記しますが、目的を忘れた変化の押し付けとなっているケースもあちこちで散見されます。「私は【変化を实践】している」ので、あなたより優れている。だから私を認めなさい、だから私の指示に従いなさい。そうすれば私の「エゴ」は満たされるから、といった論法に陥っていないでしょうか？ この場合、変化で得たい【結果】（＝多くの人にとって厚生）に繋がっているとは言いかねるでしょう。

所詮神ならぬ一人の人間が【正解の結果】など出せるはずもなく、代わりに「エゴ」と「エゴ」の健全な形での切磋琢磨が、よりよい【結果】へ帰結的に導かれるという自由主義的発想も一理あります。しかしながら、「個」や「自由」がもっとも尊重されている現代ですら、多くの人々が「なんとなく息苦しい世の中」と感じている点も考慮すると、古典的競争のみでは解決が難しい問題なのでしょう。

「継続は力なり」とはよくいったものです。続けていくなかで少しずつ変化をし、トライアル&エラーの中から、「エゴ」と「結果」を擦り合わせ、細やかながらもよりよい結果を積重ねていくことがキモなのかと思います。ただ、近年の「変化」は、その振幅度合いとスピードが桁違いに大きくなっており、擦り合わせをする暇もないほどです。暇はなくとも、変化でしか「新しいテクノロジー」は産まれないこともまた事実です。「農業革命」「産業革命」「デジタル/インターネット革命」といった新技術が人々の生活水準を大きく引き上げた事は誰も否定できません。

今後の「変化」は加速する一方であり、暴力的であるとすらいえます。ただ、これに吞まれる事なく、あきらめる事なく、常に「変わり続ける」＝継続する気持ちを持ち続けていくことが最終的には結果に繋がることだと思います。地道かつ偉大なる継続をしてきた金属団地ニュースの600号記念を目の当たりにし、改めて「変化」の為の「継続」をつづけ1,000号に至らんことを心より祈念いたします。

マルフ



野球観戦ツアーに参加

毎年恒例のバンテリンドーム野球観戦ツアーに参加し、行き帰りのバスで企業毎の人数確認、ドームの席表などの確認をして労務委員会のサポートをさせていただきました。

さて、3年目の立浪ドラゴンズは、打線の補強に中田翔や上林、中島、助っ人外国人ディッカーソンらを招き入れ、オープン戦をソフトバンクと並び同率1位、そして4月9日には8年ぶりの単独首位と最高のスタートを切り、今年はいけるんじゃないかと期待を膨らましていました。

しかし、5月に大失速、、、7月13日時点で5位と中田翔も調子を落として2軍調整中。今年もまたBクラスかと雲行きが怪しくなってきました、、、

ただ～、まだ1位の巨人とは7ゲーム差でまだまだ優勝が狙える位置にいます！皆さん、諦めずに応援していきましょう！（この原稿が発行される頃はペナントレースも大詰めですがどうなっているのでしょうか）

そんな中で、今年の観戦ツアーの対戦相手は阪神でした。前日に高橋宏斗→ライデルの完封リレー&細川のホームランなど、いい流れをそのままに迎えた2カード目は近年稀にみる乱打戦でした。

立ち上がり三者凡退に抑えたベテラン涌井でしたが、2回に肩の張りで急遽降板。2人目の土生がいきなり2点を取られる嫌な流れ。

その裏、高橋周平の逆転3ランで大絶叫！リードを3点に広げたものの、3人目の齋藤が大炎上の6失点（自責点は3点）、、、今日はダメかと思った5回裏に打線が大爆発！ノーアウト満塁でカリステの犠牲フライでまず1点！続く福永がライト前ヒットで1点差！続く細川がタイムリーツーベースで再逆転！さらにまさかの5回りリーフでマウンドに上がっていた藤嶋がそのまま打席に入り5年ぶりの打席でプロ初のタイムリーヒットでダメ押し！東邦の4番は健在でした！この回打者一巡の猛攻で一挙5点をあげ、バンテリンドームの盛り上がりも最高潮に！最後は安定のライデルが抑えて試合終了！私が野球観戦に参加し始めて3年目ですが、一度も負けたことがありません！もしかして勝利の女神的な？w中田翔を見れなかったのは残念でしたが、ビールも美味しく飲めて大満足でした！次の日、声がガラガラだったのは叫び過ぎか、飲み過ぎか？w

また来年も楽しみです！





私の休日

(株)森田木型 森田 浩明

この記事を書かせて貰うにあたり、改めて私の休日の過ごし方を振り返ると、常に息子達の野球と共に過ごしてきたのが、私と言うよりも私達夫婦の休日です。

私達には、三人の息子がいます。

思い返せば現在24歳になる長男が、小学4年生になって直ぐの頃、いつもと変わらぬ家族団樂中に放ったあるひと言「お父さん、お母さん、僕、野球やるで」

私達夫婦もはじめは「は？何言ってんの？」となりましたが、よくよく話を聞いていくと、もともと野球に興味があった事に仲の良い友人たちから一緒に野球をやろうと熱心に誘われた事がきっかけでした。

後々に分かったのが、少子化による学校の生徒数の減少とやはりその様なクラブに所属すると親御さんの負担はかなり増える事から、メンバーも増えずチームの存続にまで影響が出て来た為、子供達自身が率先してメンバー集めをしていたみたいです。

私自身も幼少の頃、友人たちと一緒にスポーツ(特に野球)クラブに入ってやってみたいと思っていましたが、家庭の都合でその想いは叶いませんでした。

だから親となった私自身の想いとして、自分の子供には極力、子供がやってみたいと言うことは、挑戦させてあげたいと思う気持ちが強く、自分達の負担がどれだけ増えるのかも余り考えず「やるからには、どんなに辛くても最後までやり抜く」ことを子供と約束し、そして奥さんの理解を得て、森田家の野球人生がスタートし土日祝日の生活スタイルは激変しました。奥さんは会社に行く時よりも早起きをして、子供のお弁当等身支度の準備、私もチームの代表やら役員をしていた時間が長く、週末はバタバタで会社で仕事をしている方が、楽な時が多々ありました。

また、お正月、GW、お盆のまとまったお休みを取れる時期も野球優先ですから家族で遊びにいった思い出も少なく、当時小さかった次男、三男の遊びは常にグラウンドで野球をすることで、必然的に森田家の息子は全員「野球やるんでしょ」みたいな感じになり、三男に至っては小学1年生からクラブに入って野球を始める様になり、また早くから野球を始めた事で、まわりの同学年の子達よりは上達スピードが少し早く、本人の野球に対する熱も一段と上がり、中学進学時には硬式野球をやりたいとの事で、岐阜のとあるボーイズチームに入団したことで、我々夫婦の負担は更に増していきました。現在、長男は社会人、次男は大学生で野球はすでに引退していますが、三男は現在、高校球児として頑張っています。

ここまで来ると、親が関わる事がほとんどなくなりましたので、現在の私の休日の過ごし方は、三男の試合があれば夫婦で応援観戦、また、当時お誘い頂いてもやむなくお断りさせて頂いていたゴルフを徐々に増やし、野球もゴルフも無い時は奥さんの行きたい所へドライブやショッピング、映画鑑賞などで休日を充実させています。そんな中、時折奥さんと「よくあれだけ子供のやっている野球につきあえたな(汗)」「まあ、あの生活には、もうしんどくて戻れんよな(苦笑)」と話すことがありますが、それでもやっぱり自分の子供が一生懸命やっている姿や活躍したところを観れると、本当に嬉しくて、それがストレス解消にも繋がっていたんだなと言うところが、長く子供の野球に携われた夫婦の一致した意見でした。

いつまで子供に関わる事ができるか分かりませんが、もう少しの間、子供をネタに休日を楽しみたいと思います。

親バカ一面の内容ですが、共感していただけると幸いです。(笑)

行事予定

2024 **9** September

16 月	『敬老の日』
17 火	月例会 役員会
18 水	パネル展示 イオン各務原内(～20日)
19 木	
20 金	
21 土	ワークショップ イオン各務原内(～22日) 『組合休日』
22 日	『秋分の日』
23 月	『振替休日』
24 火	
25 水	
26 木	編集委員会
27 金	消防訓練
28 土	団地G 『組合休日』
29 日	
30 月	

2024 **10** October

1 火	
2 水	
3 木	衛生大会
4 金	
5 土	『組合休日』
6 日	
7 月	
8 火	
9 水	
10 木	
11 金	
12 土	『組合休日』
13 日	
14 月	『スポーツの日』
15 火	

10月の行事予定

10月18日 金 代表者会議
10月21日 月 月例会・役員会
10月24日 木～25日 金 中小企業団体中央会全国大会

11月の行事予定

11月16日 土～17日 日 親睦旅行

8月度金属団地ゴルフ会

8月24日 土 岐阜関カントリー倶楽部 東コース
優勝 永田 保(マルエイ) 2位 山村容弘(山村製作所) 3位 鳥山 仁(共和鑄造所)

